

創刊にあたって

財団法人えひめ地域政策研究センター理事長

愛媛県知事 加戸 守行



(財)えひめ地域政策研究センターは、これまで地域の活性化に多大の成果を上げて参りました(財)愛媛県社会経済研究財団と(財)愛媛県まちづくり総合センターを発展的に解散・統合し、21世紀の誇れる愛媛づくりに向けて、産・学・行・民の幅広い英知を結集するための拠点として、今年4月に発足いたしました。

御案内のとおり、当センターの発足と時を同じくして、地方分権一括法が施行され、地方が自ら考え自ら実行していく時代が到来しております。

このような中で、当センターは、愛媛の実情や課題に即した調査研究や政策提言及びその成果の普及・啓発を行うとともに、新たな視点に立った交流やまちづくり活動を積極的かつ効果的に支援するための中核機関として、各方面からの人材を得て設立したものでございます。

21世紀を生き抜く力は、知恵と意欲であると言われております。今後、地域を発展させていくためには、それぞれの地域がどのようにして知恵を出し合い、それをいかに意欲をもって実行するかが重要であり、それが地域の未来の命運を決めることとなります。

知恵という言葉は、ギリシャ語ではソフォスに相当し、ソフォスを愛する学問のことをフィロソフィーと言いますが、我が国では明治の初期に、西周博士がこれを哲学と翻訳されました。哲学と言うと観念的、抽象的な印象を持たれがちですが、今の時代に求められているのは、実用性のある、具体的かつ実現可能な学問としてのフィロソフィーであり、そうした21世紀にふさわしいフィロソフィーを、えひめ地域政策研究センターの活動を通じて追求して参りたいと考えております。

このたび、当センターの調査研究情報誌「ECPR」が創刊の運びとなりました。今後、この情報誌が、多くの方々に愛読され、県、市町村、企業、そして県民が一体となって21世紀の素晴らしい愛媛を創り上げていく上での一助となることを念願しております。